指定管理者の実績評価シート

令和8年5月（令和4年度～令和7年度実績）

施設名	ウィングアリーナ刈谷、ウェーブスタジアム刈谷、 グリーングラウンド刈谷、刈谷市総合運動公園、 逢妻川緑地、逢妻川桜づつみ
主管部課等名	教育部　スポーツ課

（1）指定管理者の概要

指定管理者	刈谷みらいスポーツパートナーズ（代表企業：コナミスポーツ株式会社）		
所在地	刈谷市築地町荒田1番地		
管理体制	総括責任者1名、副総括責任者1名、温水プール責任者1名、トレーニング責任者1名、設備管理業務責任者1名、清掃業務責任者1名、芝生管理業務責任者1名、パート職員17名		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日	指定方法	公募
管理業務の内容	施設の使用に関する業務、使用料等及び利用料金の収受に関する業務、広報に関する業務等		

（2）運営状況

行事・講座等	スポーツ教室運営、スポーツ体験会の実施など
サービス向上への取組み	利用者アンケートを通して、施設利用者のニーズを吸い上げて、利用者が快適に使用できる様に務めている。

利用状況	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
貸切件数（件）	14,857	14,674	10,531	13,907

満足度アンケート					
	概要	【実施時期】ウィングアリーナ刈谷：毎年1月　ウェーブスタジアム刈谷、グリーングラウンド刈谷：毎年9月・3月 【実施方法】受付で利用者にアンケート用紙を配布・回収 設問：スタッフの対応「大変分りやすい」、「分りやすい」、「普通」、「わかりにくい」から選択 【配布数】 ■ウィングアリーナ刈谷（回収率100％） 令和4年度188件、令和5年度285件、令和6年度294件、令和7年度378件 ■ウェーブスタジアム刈谷、グリーングラウンド刈谷（回収率100％） 令和4年度218件、令和5年度218件、令和6年度202件、令和7年度210件			
	結果	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	ウィングアリーナ刈谷「大変良い」「良い」の割合	91.0	92.0	95.0	94.0
	ウェーブスタジアム刈谷・グリーングラウンド刈谷「大変良い」「良い」の割合	97.0	92.0	86.0	83.0
	上記への対応状況	毎年90%前後の高評価をもらっている。今後もスタッフの意識を維持していくと共にウィングアリーナ刈谷・ウェーブスタジアム刈谷ともに連携を強化し満足度の高い接客を心がけます。			

モニタリング実施結果	
主な問題点及びその対応状況	トップリーグ開催時の駐車場混雑対応は以前より取り組んでおります。 また、可能な限りご利用者のお声を拾い即時対応できるものは最短で実行しました。

その他特記事項	施設周知の為に、インスタグラムの掲載を積極的に行いました。

（3）収支の状況

収支の状況（単位：円）		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
収入	指定管理料	274,074,000	274,164,000	280,366,269	275,743,300
	利用料金	33,333,750	33,921,150	34,770,850	36,146,500
	その他	58,930,579	63,359,610	64,028,365	64,042,168
	収　入（計）	366,338,329	371,444,760	379,165,484	375,931,968
支出	事業費	30,225,898	28,866,424	29,885,493	20,452,284
	管理運営費	209,387,276	206,801,446	183,099,528	212,691,311
	人件費	113,938,116	113,357,203	117,835,233	124,698,592
	その他	53,672,024	53,468,205	52,040,299	54,580,817
	支　出（計）	407,223,314	402,493,278	382,860,553	412,423,004

（4）総合評価

評価項目	判定
法令等の遵守	B
適正なｻｰﾋﾞｽの提供（苦情対応・アンケートなど）	A
運営状況（協定書、事業計画書等に沿って運営されているか）	B
施設の利用状況（稼動状況、事業計画の達成度など）	B
管理経費等の収支状況（経理状況や経費節減の取組み）	B
自主事業の実施状況	B
施設の維持管理状況	B
保守管理の実施状況	B

総合評価		判定
評価の理由	利用者の満足度や施設の利用率が高く、また、適切な管理状態が保たれている。	B

（4）総合評価の欄について

判定は、各項目につき、下記の4段階評価し、評価不能な項目は「－」とする。

A：協定書、仕様書に定める内容を上回る成果があった。

B：概ね協定書、仕様書に定める内容どおりの成果があった。

C：協定書、仕様書に定める業務内容に達しない面があり、改善の努力が必要。

D：管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要する。

－：実施していない。